

新型コロナウイルス下における共同利用研究の推進支援プログラムおよび「今が大切」若手研究者緊急支援プログラムの開始について

共同利用研究者各位

金属材料研究所国際共同利用・共同研究拠点 GIMRT では、新型コロナウイルスのパンデミックの下で共同利用研究を推進するために、以下の支援策を開始します。

申請者各位におかれましては、希望する場合は、受け入れ教員と相談の上、受け入れ教員から申し込んで下さい。

なお、パンデミックの終息の見通しは現時点で不明のため、国際課題についても、実施延期ではなく、可能な範囲で研究を実施することが望まれます。その上で、来年度以降については、改めて新規課題や後継課題を申請することを推奨します。来年度の申請にあたっては、国内、国外問わず当初実施予定の内容が 100 %実施出来なくても、後継課題の採択の判定では不利にはならないように取り扱います。

支援の内容

1. 来所を伴わない共同研究型の課題実施

来所が困難な場合、試料等を送付頂き、インターネットも駆使して、受け入れ教員が中心となって実験等を行い、課題を実施することを実施経費の受け入れ教員への配分により支援します。ただし、受け入れ教員の支援可能な時間には制約がありますので、重要かつ緊急な内容に絞り込むよう、受け入れ教員と十分に相談して下さい。

2. 比較的、感染者が少なく、感染防止対策の観点から来所が容易な場合において、当初の配分旅費では不足する場合、追加で旅費支給を行います。

3. 「今が大切」若手研究者緊急支援プログラム

日々成長する若手研究者にとっては、研究のブランクを作らず継続していくことが何よりも必要です。そのため、新型コロナウイルスによる研究の困難の中で若手研究者(40歳以下)の研究に対して以下の支援を行います。

- (1) 大学院生や PD 等の長期の滞在型共同利用の支援: 4 – 6 週間程度滞在して、まとめて共同利用研究を行うための旅費滞在費の支援を行います。
- (2) 若手研究者が筆頭著者となる 2018 年以降の課題の成果を論文として出版する場合、あるいは出版された論文のオープンアクセスを行うための費用の一部の支援を行います。
- (3) 若手研究者が筆頭著者となる 2018 年以降の課題の成果を論文として出版する場合の英文校正費の一部の支援を行います。

若手研究者緊急支援プログラムの対象は、若手が申請者となっている課題、あるいは若手が中心になって推進し、学位論文等に繋がる課題や論文出版等において若手が筆頭著者となる課題とします。

いずれも、予算管理上、金研の共同研究者の負担分への支払いによる支援として行われます。

本プログラムは、既に採択済みの課題および新規課題において申請が可能です。次回の新規課題の申請締め切りは9月末、採択は10月末予定です。これ以前の早期に実施を希望する場合には、申請がありしだい個別に審査、採択しますので、申請時にご連絡下さい。